

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



「住民と事業所の連携の可能性」について話し合いました！

地域では町内会やボランティアグループなどを中心に見守り活動や居場所活動などが行われていますが、役員の高齢化、担い手不足といった課題に加え、コロナ禍により新たな課題も出てきています。

このような課題に対し、他市町村では地域と事業所が連携して既存の活動を盛り上げたり、課題を解決しているところもあります。

令和4年7月6日（水）に開催した地域ケア推進会議（協議体）では、他市町村の取り組みを参考に、志免町でどのような活動ができそうか話し合いを行いました。



地域の課題

- ・介護認定を受けるまではいかないが、支援が必要な人が増えている印象。話し相手や見守りなどができるといい。
- ・免許返納等もあり、買い物や通院などの生活に関わる「移動」が今後の課題。
- ・ゴミ出しの時間帯がヘルパーでは対応できないこともある。
- ・ワクチン接種の予約など、インターネットを使いこなせない人もいる。



事業所として取り組んでいること

- ・リハビリの専門職による、居場所活動での運動の指導。
- ・一般企業による町内会夏祭りのお手伝い。
- ・弁当屋と個人が連携し、個人が住む町内会住民を対象に配食サービスを実施。
- ・施設の敷地を地域に貸し出し、活用してもらう。



今後取り組みそうなこと

- ・葬儀場などバスを持っているところと連携がとれば、移動支援ができそう。
- ・事業所だけでなく学生にも協力してもらい、スマートフォンの使い方を教えてもらえるといいのではないか。
- ・まずは協力いただける事業所を募集する方がいいのではないか。



会議での意見を受け、広報しめ11月号及び社会福祉協議会のホームページなどで企業のボランティア登録を呼びかけました。

今後も、地域のお困りごとややりたいこと、事業所に協力いただけることややりたいことをマッチングしていきたいと思います。

令和4年度前期 活動報告

令和4年4月～令和4年9月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。



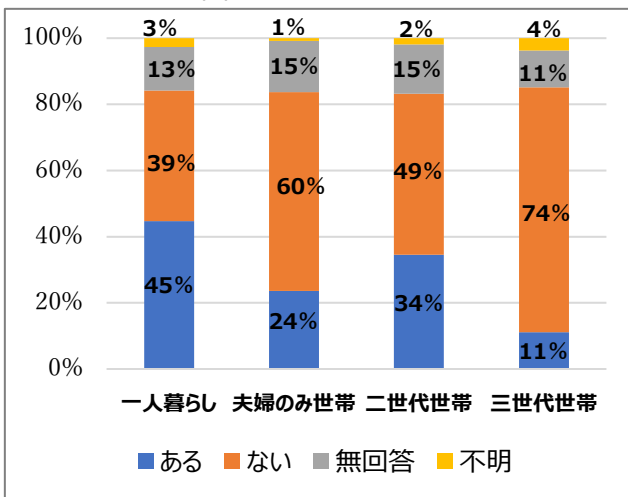
「ふくしのまちづくりプロジェクト」

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。

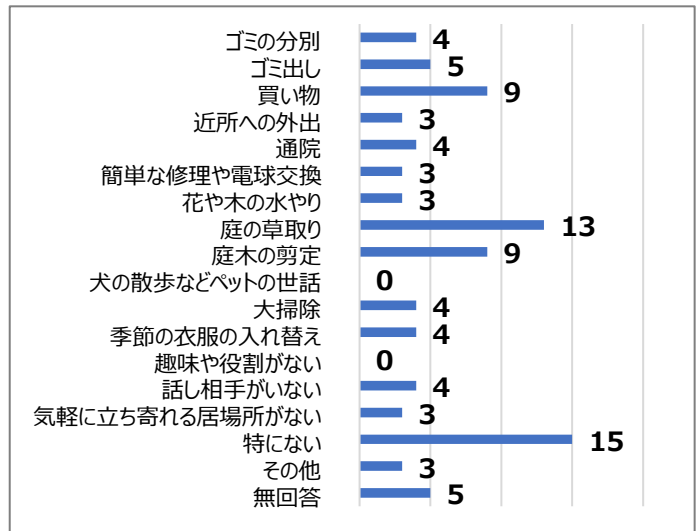
桜丘一町内会 アンケート実施

コロナ禍で中止していた話し合いを7月から再開し、9月には70歳以上の方を対象にアンケートを実施しました。アンケート結果の一部をご紹介します。

【世帯別の不安・困りごとの有無】



【一人暮らしの方が不安・困っていると感じること】



王子八幡町内会 「王子サポート隊」も対象とした勉強会の実施

王子サポート隊は、王子八幡町内会にお住まいの方の見守り活動とちょっとした生活上の困りごとに対応していくグループです。

今年度から町と社会福祉協議会が協力して開催している「認知症モデル事業（全4回）」に申し込み、町内会役員・組長・王子サポート隊向けに勉強会を実施されています。認知症の症状、関わり方などを事例検討会や個人ワークを通して学んでいます。



町内会長から「相手の気持ちを考えて行動したり、相手の尊厳を守ることは、認知症になってもならなくても同じ。誰に対しても思いやりをもって接していきましょう」と話があり、誰もが住みやすい町内会づくりに向けて積極的に行動されている様子が伺えました。

成和町内会「成和支え愛クラブ」モデル活動

日常のちょっとしたお手伝いや居場所活動を行う「成和支え愛クラブ」の立ち上げに向けてボランティア募集及び説明会を行う予定でしたが、コロナ禍のため活動を延期しています。そのような中「ゴミ出しに困っている」と住民の方から相談があり、モデル活動として個別対応をしています。

「今は1件しか依頼がありませんが、他にもお困りの方はおられると思います。気軽に相談してほしいです」と事務局の方。成和町内会で依頼したい方は事務局か社会福祉協議会までご相談ください。



【活動までの流れ】

「ゴミ出し（燃えるゴミ）」に関する相談があり、成和支え愛クラブ事務局メンバーと生活支援コーディネーターで話し合いました。

依頼者の近くに住む事務局メンバーに加え、組合で協力してくれそうな方にお声かけし、計4名の活動者が集まりました。

活動者で週ごとに担当を決め、対応することにしました。また、依頼者とも話し合い、燃えるゴミを置いておく場所や時間、重いゴミを捨てるお手伝いもすることなどが決まりました。全てを手伝うのではなく、ペットボトルなどの軽いゴミは依頼者が捨てるようにし、負担の大きい部分のみ手伝っています。

担当の週には、自分の家のゴミを出すついでに、依頼者宅のゴミも運びます。

月末には、事務局から依頼者と活動者にLINEで担当表（カレンダー）を送り、活動日の確認をしています。

活動者の感想

- 活動を始めて8か月ほど経ちます。できる範囲（無理ない頻度）でさせてもらっているため、長く続けても苦ではありません。
- この活動が、人のお役に立っていると感じられることも、とても嬉しく思います。

依頼者の感想

- ただ、ただ、ありがたく、感謝でいっぱいです。足が悪く、重い荷物が持てなくなって困っておりました。今後ご迷惑をおかけしますが、気持ちよく引き受けてくださって、とても嬉しく思っております。



「町内会活動の支援」

桜丘南町内会 人材発掘・育成に関する勉強会及び交流行事の開催

今年度から町内会の組織体制が代わり、見守り活動を強化するため副組長を配置することになりました。5月18日（水）には組長・副組長合同研修会にて、町内会の現状、見守り活動の視点や方法についてお伝えしています。

また、町内会より人材発掘・育成を行いたいとの意向を受けて話し合いを行いました。人材を発掘するために、まずは住民が交流する機会をつくることになり、若い世代が参加できるよう

「小さな花火大会」「井野山ハイキング」が企画されました。花火大会では、青少年部のほか、中学生がボランティアで受付を担当されており、100名近い方が参加されています。

行事や日頃の交流を通して、住民同士が顔見知りになることは町内会運営や助け合い活動の基礎といえます。新しい取り組みを通して、新たなつながりもできたのではないかと感じました。



組長・副組長合同研修会



小さな花火大会

石橋台町内会 全組に見守りネットワークリーダーを配置

石橋台町内会では、志免町で一番高齢化率が高い町内会という状況を受け、令和元年頃から「見守りネットワーク活動」に力を入れています。

見守りネットワーク活動は継続的に取り組む必要がある活動であり、基盤をより強化する必要性を感じ、今年度より各組（全10組）に見守りネットワークのリーダーを配置しています。リーダーは平時との変化が無いかの気配りを行い、何か異変を感じた時は関係者につなぐという役割があり、福祉部とも連携しながら活動を行っています。孤立死などの悲しい事件が起きないように、また、住民同士のつながりが強い地域を目指していくため、今後も継続した活動を行っていきたいと思います。

石橋台町内会 見守りネットワーク プロジェクトリーダー 清水 良子

生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011